

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)
亀山北地区

平成30年10月

栃木県真岡市

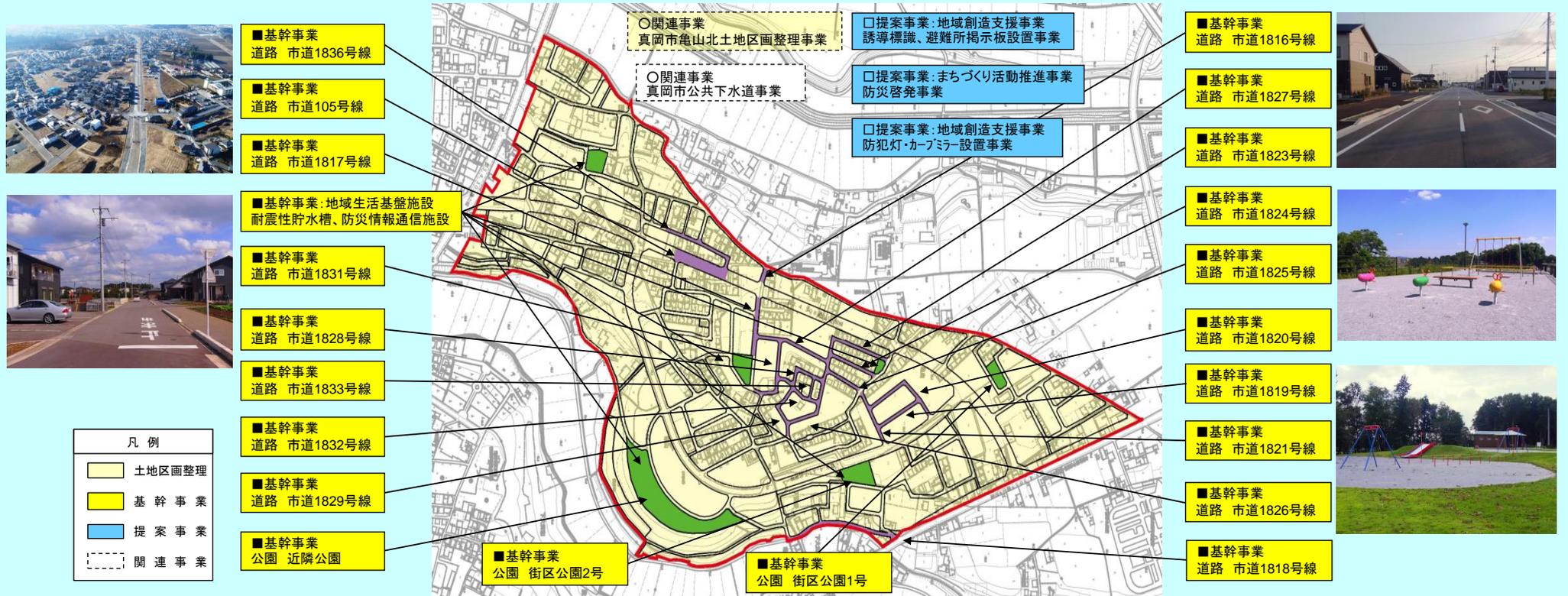
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	真岡市		地区名	亀山北地区			面積	49.8ha		
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	1,120百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道1816号線,市道1817号線,市道1818号線,市道1819号線,市道1820号線,市道1821号線,市道1823号線,市道1824号線,市道1825号線,市道1826号線,市道1827号線,市道1828号線,市道1829号線,市道1831号線,市道1832号線,市道1833号線)、公園(近隣公園、街区公園2号)										
		提案事業	—										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		—		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	なし		—		—			—			
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道105号線,市道1836号線)		—		通学路の早期整備、道路ネットワークの構築による利便性・安全性の向上と宅地の更なる増進の促進、雨水管渠の整備促進のため			影響なし			
交付期間の変更	当初	平成24年度～平成28年度		—		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
	変更	平成 年度～平成 年度		—		—							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	人口の定着	人	1,343	H23	1,383	H28	—	1,452	○	あり	区画整理により既存住民が住続けられたほか、基幹事業等による社会基盤の整備により住宅地としての魅力が向上したことや保留地処分により、地区内への定住が促進された。	—
	指標2	良好な生活環境や暮らしやすさに関する満足度	%	9.8	H23	18.4	H28	—	57.2	○	あり	道路、公園、下水道等の社会基盤の整備が進み、生活利便施設等も進出したことにより、住環境の質の向上が図られ評価向上に結びついた。	—
指標3	潤いと安らぎを与える子どもの遊び場、交流の場に関する満足度	%	4.0	H23	9.4	H28	—	34.4	○	あり	公園の整備により潤いと安らぎを与える子どもの遊び場、交流の場の創出、道路整備や既存建物の建替え更新による街並みの向上等が評価向上に結びついた。	—	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他の数値指標2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の数値指標3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4)定性的な効果発現状況	基幹事業及び関連事業(土地区画整理事業、公共下水道事業)による社会基盤整備が推進されたことにより、安全性、快適性、利便性の高い居住環境が形成され、居住地域としての魅力が向上した。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—					
	住民参加プロセス	真岡市亀山北土地区画整理組合役員会において、公園の整備内容について検討		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も住民のニーズを反映した公園整備を推進するとともに、住民が主体となった維持管理の意識を醸成し、地域コミュニティの推進を図る。					
	持続的なまちづくり体制の構築	自治会が中心となって取り組んでいるスクールガード等の防犯活動への協力、及び防犯意識の高揚を図るための啓発活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 住民が主体となって取り組んでいる防犯活動等に対し、適宜後方支援を行い、安全安心なまちづくりの持続的な推進を図る。					

様式2-2 地区の概要

亀山北地区(栃木県真岡市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
安心して快適に暮らせる居住地域の形成 目標1: 新たな定住を促進する生活基盤づくりの推進 目標2: 安全・安心に暮らせる防災・防犯環境づくりと啓発 目標3: 住民との協働による快適で潤いと豊かな緑に包まれた空間づくりの推進	人口の定着	単位: 人	1,343	H23	1,383	H28	1,452	H30
	良好な生活環境や暮らしやすさに関する満足度	単位: %	9.8	H23	18.4	H28	57.2	H30
	潤いと安らぎを与える子どもの遊び場、交流の場に関する満足度	単位: %	4.0	H23	9.4	H28	34.4	H30



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 基幹事業及び関連事業により、市の中心核近傍に魅力的な住宅街が形成されるとともに、新たな住宅地が供給されたことにより、定住人口の増加が図れた。 公共施設の整備改善が推進され、安全性や快適性の高い生活環境の形成が図れた。 住民のより身近なところに公園が整備されたことによって、日常生活に潤いを与え、緑あふれる生活環境の形成が進んだ。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 主たる基盤整備はほぼ達成されたので、今後はそれらの適正な維持管理と有効活用を図っていく。 住民との協働した継続的なまちづくり活動の推進に努める。 関連事業である土地区画整理事業や公共下水道事業の円滑な推進を図り、いっそうの生活環境の向上を図る。 身近な緑・美しい街並みは自らづくり、守り育てる意識の醸成を図っていく。 地区で取り組まれているスクールガードや防犯パトロール活動など、住民参加によるまちづくり活動が継続的なものとなるよう、様々な形で支援していく。